

温故知新



環境創造型農業シンポジウム
第四回ふゆ・みず・たんぼシンポジウム

平成16年12月4日(土)・5日(日)

メイン会場 宮城県田尻町文化センター

現地視察 蕪栗沼・伸萌地区水田
(マガンとふゆ・みず・たんぼ)

申込先着順・限定400名・11月15日(月)締切

- 主催 宮城県田尻町，日本雁を保護する会，NPO法人蕪栗ぬまっこくらぶ
- 協力 (社)農村環境整備センター，NPO法人民間稲作研究所，JAみどりの，JA全農
(予定) 旧迫川右岸土地改良区，伊豆沼農産，宮城県農村振興技術連盟，ナマズのがっこう
(有)たじり穂波公社
- 後援 農林水産省東北農政局，国土交通省東北地方整備局，環境省東北地区自然保護事務所
宮城県



環境創造型農業シンポジウム

第4回ふゆ・みず・たんぼシンポジウム

～ 温故知新 ～

宮城県発祥の環境創造型稲作「冬期湛水不耕起無農薬水田（ふゆ・みず・たんぼ）」は、生物多様性を高めるだけでなく、水田に投入する資材や労力が少なく、除草剤を使わない抑草技術として期待されるなど、新時代の環境創造型農業の可能性を大きく広げました。

冬期湛水水田は『田冬水』として江戸時代の会津農書にすでに記されていた技術であることがわかりました。また、抑草対策や冷害対策技術である深水管理の原点も天明時代に宮城県登米郡上沼の後藤新四郎により、確立された技術であることが明らかになるなど、環境創造型農業の基本的概念の多くが江戸時代にすでに存在していたと言えます。

私たちは『温故知新』の名の下に『古くて新しい技術』をこのシンポジウムを契機に再認識したいと考えました。

そして、このたび21世紀稲作の主流となりうる環境創造型稲作をより広く普及実践するために、実践農家、調査研究者、行政、NPO等が集まり、下記の内容で「環境創造型農業シンポジウム・第4回ふゆ・みず・たんぼシンポジウム」を開催することになりました。

この会の趣旨を御理解いただき、多くの方々に参加していただけることを願い、皆様にご案内申し上げます。

日 時 平成16年12月4日（土）、5日（日） 2日間

場 所 メイン会場；田尻町文化センター

宮城県遠田郡田尻町沼部字富岡 1 6 6

0229-39-0213

プ ロ グ ラ ム

12月4日（土）；1日目

受 付（9：00～9：30）

歓迎の挨拶（9：30）

日本雁を保護する会会長 呉 地 正 行

主催者挨拶（9：35～10：00）

宮城県田尻町長 堀 江 敏 正

祝 辞（10：00～10：20）

前 農林水産副大臣 参議院議員 市 川 一 朗

基調講演 1 (10:20~11:20)

- ・ 鷲谷 いづみ (東京大学農学生命科学科教授)
演題:「複合生態系を再生する、環境水田」(仮題)

基調講演 2 (11:20~12:05)

- ・ 中貝 宗治 (兵庫県豊岡市長)
演題:「コウノトリと共生するまちづくり」
- <昼食> (12:10~13:00)

報告 「ふゆ・みず・たんぼ ~温故知新・過去から未来へ~」

総合司会: 稜川 信弘 (東北文化学園大学総合政策学部 教授)

テーマ 1 (13:00~14:00)

「ふゆ・みず・たんぼ技術の現状と未来」

- ・ 伊藤 豊彰 (東北大学大学院農学研究科助教授)
(内容)「ふゆ・みず・たんぼ」は、冬期湛水、有機栽培、不耕起・半不耕起栽培を組み合わせた、古くて新しい農法で、人間・水稲作と水鳥、水田生物との共生や物質循環の回復などによる環境創造を目指しています。「ふゆ・みず・たんぼ」に関する国内外のこれまでの知見に学びつつ、田尻町伸萌地区の今年までの調査結果をふまえて、「ふゆ・みず・たんぼ」の多面的機能への貢献と「農法」としての現状、課題、将来性について報告します。

テーマ 2 「農家から見た現状と未来」(14:00~14:50)

- 報告・鼎談 -

(内容) 田尻町伸萌地区では、今年から複数農家がまとまって20haの「ふゆ・みず・たんぼ」の実践を行い、天候も幸いして大きな成果をあげました。この1年間の経過報告と成果、課題、将来展望を報告します。

- ・ 岩淵 成紀 (宮城県田尻高等学校教諭)
- ・ 三浦 孝一 (田尻町伸萌行政区長、ふゆ・みず・たんぼ農家)
- ・ 高橋 直樹 (田尻町農政商工課 生産調整推進対策係長)

<ほっとひと息> (14:50~15:05) 田中卓二* ミニコンサート「ふゆ・みず・たんぼの歌」

(*「むらおこし」シンガーソングライター・国土交通省北海道局農林水産課開発専門官)

<休憩> (15:05~15:20)

テーマ 3 「農業・水・環境と地域活性化の政策」(15:20~16:40)

- パネル討論 -

(内容) 田園地帯における農業の経済性と多面的機能を最大限まで発揮・維持管理するためには、地域での農業政策、河川政策、環境政策及び地域政策などの統合が不可欠です。田尻町や豊岡市ではじまった画期的な取組を通じて、新たな時代の田園政策展開のあり方を討論します。

- コーディネーター 呉地 正行 (日本雁を保護する会 会長)
- ・ 西澤 誠弘 (宮城県田尻町農政商工課 課長)
 - ・ 佐竹 節夫 (兵庫県豊岡市企画部コウノトリ共生推進課 課長)
 - ・ 岡野 光男 (農林水産省大臣官房 環境政策課 課長補佐)
 - ・ 森 吉尚 (国土交通省河川局河川環境課 河川環境保全調整官)

テーマ4「田んぼと沼と環境教育」(16:40~17:30)

- 報告・鼎談 -

(内容) 生き物, 水田, 沼, 水路, 雑木林などは田園地帯の社会資本であることから、これらを地域住民のみならず消費者, 都市住民等の理解と協力を得て管理するための活動や環境教育のあり方について, 地域での実践事例等を交えて報告します。

コーディネーター 見上 一幸 (宮城教育大学教授・環境教育実践研究センター長)

- ・ 加納 麻紀子 (社団法人 農村環境整備センター)
- ・ 戸島 潤 (NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ 副理事長)

<休憩> (17:30~17:40)

本日の論点のまとめ(17:40~18:10)

稜川 信弘 (東北文化学園大学総合政策学部 教授)

交流会(18:30~20:00)

会場: 田尻町中央公民館軽運動室(田尻町文化センター隣)

バスが宿泊先(古川プラザホテル他)へ出発(20:30)

12月5日(日): 2日目

雁の飛び立ち観察会(6:00~8:00)

~蕪栗沼へ移動, 「ふゆ・みず・たんぼ」現地視察会~

5:30 古川プラザホテル出発(希望者のみ)

昨日の論議のまとめと本日の論点(9:00~9:20)

稜川 信弘 (東北文化学園大学総合政策学部 教授)

分科会(「ふゆ・みず・たんぼ ~温故知新・過去から未来へ~」

(9:30~11:00)

テーマ1 「ふゆ・みず・たんぼ技術の現状と未来」

(内容) 田尻町で発祥し発展しつつある「ふゆ・みず・たんぼ」の農業技術を確立し、それを支援して全国に普及展開するための方法について議論します。

コーディネーター 伊藤 豊彰 (東北大学大学院農学研究科助教授)

- ・ 小山 淳 (宮城県古川農業試験場 主任研究員)
- ・ 稲葉 光國 (NPO法人 民間稲作研究所代表)

テーマ2 「農家から見た現状と未来」

(内容) 「ふゆ・みず・たんぼ」の農業技術、米販売、消費者との連携、政策的支援などについて消費者を交え生産者(農家)の視点で討議します。

コーディネーター 岩淵 成紀 (宮城県田尻高等学校教諭)

- ・ 齋藤 肇 (宮城県田尻町仲萌農家)
- ・ 菅原 秀敏 (宮城県志波姫町農家)
- ・ 佐々木 寛 (宮城県迫町伊豆沼第三工区農家)

- ・ 田崎 愛知郎 (生活協同組合連合会 首都圏コープ事業連合 産直事業部)

テーマ3 「農業・水・環境と地域活性化の政策」

(内容) 田尻町発祥・技術開発による「ふゆ・みず・たんぼ」の普及と全国展開に向けての課題、政策化などについて討議します。

- コーディネーター 呉 地 正 行 (日本雁を保護する会 会長)
- ・ 岡 野 光 男 (農林水産省大臣官房 環境政策課 課長補佐)
 - ・ 西 川 和 雄 (国土交通省東北地方整備局 河川部 河川環境課長)
 - ・ 西 宮 洋 (環境省東北地区 自然保護事務所長)
 - ・ 原 耕 造 (全農大消費地販売部次長)

テーマ4 「田んぼと沼と環境教育」

(内容) 地域や都市住民が参加した田園社会資本の管理方法と環境教育の具体的な手法について討議します。

- コーディネーター 見 上 一 幸 (宮城教育大学教授・環境教育実践研究センター長)
- ・ 成 瀬 陽 子 (南方町立西郷小学校 教諭)
 - ・ 三 塚 牧 夫 (ナマズのがっこう)
 - ・ 高 橋 清 孝 (シナイモツゴ郷の会)
 - ・ 中 茎 元 一 (メダカ里親の会)
 - ・ 渡 邊 昭 弘 (農村環境整備センター 研究第一部長)

分科会報告, 全体討論会・宣言 (11:20~12:20)

閉会の挨拶 (12:25)

千 葉 俊 朗 (NPO法人 蕪栗ぬまっこくらぶ 理事長)

参加費と参加の申込方法

(1) 参加費

1日参加

12月4日(土)のみ参加 3,000円(資料代2,000円 昼食代1,000円)

12月5日(日)のみ参加 2,000円(資料代2,000円)

2日間参加 3,000円(資料代2,000円 12月4日の昼食代1,000円)

交流会参加費 4,000円(12月4日(土)18:30~20:00)

蕪栗沼・ふゆ・みず・たんぼ現地視察参加費 500円(蕪栗沼等ガイド料)

(2) 宿泊費

6,500円(一泊朝食付き,会場・ホテル間のバス送迎含む)

宿泊先 プラザホテル古川

〒989-6162 宮城県古川市駅前大通2丁目1番18号

TEL.0229(24)7700 / FAX.0229(24)7710

(3) 参加申込方法

参加申込(宿泊を含む)

申込用紙に必要事項を記入の上,郵送またはFAX,E-mailにて申し込みください。申し

込みの詳細は申込用紙に記載しています。

参加費の振込先

日本郵政公社 陸前大貫郵便局（蕪栗沼に最も近い郵便局）
口座名義 環境創造型農業シンポジウム実行委員会
口座番号 02270-0-41812

参加申し込み及び問い合わせ先

宮城県田尻町役場農政商工課 高橋直樹
住所 〒989-4308 宮城県遠田郡田尻町沼部字富岡183番地3
TEL 0229-39-1115 / FAX 0229-39-3100
E-mail: s0348@town.tajiri.miyagi.jp

【参加申し込み期限】 平成16年11月15日(月)

その他の事項

参加者との質疑応答・交流など

12月4日(土)懇親会で参加者が発表することが可能ですので発表者は予めご連絡願います。
会場などで持参したポスター掲載が可能です。また、チラシや機関誌などの配布も可能です。
12月4日(土)懇親会后、古川において会費制で「朝まで討論・交流会」を開催する予定です。

「ふゆ・みず・たんぼ」で栽培された無農薬・無化学肥料栽培米や田尻町特産品等の直売コーナーも設置いたします。

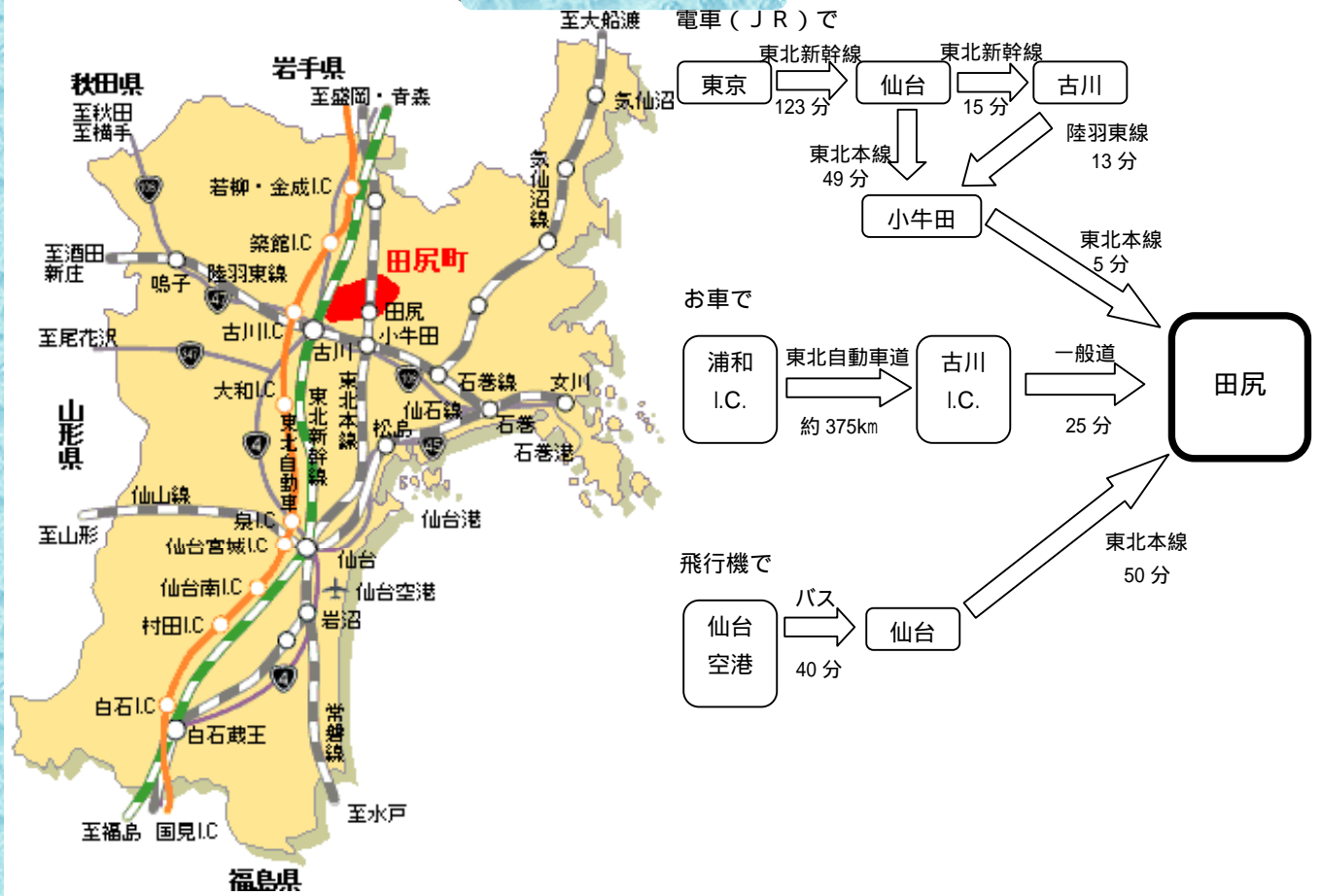
会場については会場図(別紙)を参照して下さい。

シンポジウムの最新情報

<http://www.jgoose.jp/wfrf/>又は<http://www.town.tajiri.miyagi.jp/>のホームページ上で最新の情報をお知らせいたしますので、ご活用下さい。

主要会場・ホテルへのアクセス

各交通のご案内



ホテル周辺地図



プラザホテル古川



バス運行スケジュール

12月4日(土)

| | | |
|-----|-----|---------------------|
| 古川駅 | 会場 | 8:30発(開会に間に合う便) |
| | | 9:30発(基調講演に間に合う便) |
| ホテル | 会場 | 8:45発 |
| 会場 | ホテル | 19:00発(交流会に参加されない方) |
| | | 20:30発(交流会に参加される方) |

12月5日(日)

| | | |
|-----|----------|---------------------------------|
| ホテル | 会場 | 5:30発(ガンの飛び立ち、ふゆ・みず・たんぼ現地見学参加者) |
| | | 8:20発(シンポジウムのみ参加の方) |
| 会場 | 古川駅, 田尻駅 | 13:00発 |



環境創造型農業シンポジウム

第4回 ふゆ・みず・たんぼ シンポジウム

参加申込書

宮城県田尻町後場農政商工課あて

TEL 0229-39-1115 (内線190)

FAX 0229-39-3100

E-mail s0348@town.tajiri.lmiyagi.jp

○参加詳細記入欄 氏名・住所以外は、○又は×でご記入ください。

| | |
|---|--------------------------------|
| 参加者 1枚紙参加の場合に氏名 を記入 | ふゆみずたんぼ |
| 連絡先 勤務先・自宅 どちらかに口 きつけてくだ さい | 住所 電話番号 FAX 電子 メール |
| 性別 | 性別 |

| 参加者番号 | 氏名 | 住所 | 性別 | 12月4日(土) | | | 12月5日(日) | | 合計 |
|----------|-------|-------------------|-----|----------|--------|---------------|------------|--------------------------|---------|
| | | | | 朝食 | 交流会 | 宿泊券 | 早朝 現地視察 | シンポジウム 1分体会場券1 資料代 | |
| 記入欄 | 冬水田 郎 | 宮城県遠田田尻町新栗字0013番地 | 男・女 | 2,000円 | 4,000円 | 8,500円 | 500円 | 2,000円 | 14,500円 |
| 申込書本人 | | | | | | | | | |
| 参加者番号1 | | | 男・女 | | | | | | |
| 参加者番号2 | | | 男・女 | | | | | | |
| 参加者番号3 | | | 男・女 | | | | | | |
| バス利用の有無 | | | | 12月5日(日) | | | | | |
| 古川駅 ⇒ 会場 | | 会場 ⇒ ホテル | | ホテル ⇒ 会場 | | 会場 ⇒ 古川駅, 田尻駅 | | 利用人数 | |
| ①8:30発 | | ①19:00発 | | ①5:30発 | | ①13:00発 | | 名 | |
| ②9:30発 | | ②20:30発 | | ②8:20発 | | | | 名 | |
| ホテル ⇒ 会場 | | 会場 ⇒ ホテル | | ホテル ⇒ 会場 | | 会場 ⇒ 古川駅, 田尻駅 | | 利用人数 | |
| ①8:45発 | | ①8:45発 | | ①8:45発 | | | | 名 | |

①12月5日(日)の2日目のシンポジウムに参加費(資料代)2,000円については、1日目から参加される方は不要となります。
 ②宿泊については、11月26日(金)以降にキャンセルする場合キャンセル料が発生いたしますのでご了承ください。